

理想的な勤務体系のもとで働く喜びを。



日勤
の
陽子さん
YOKO



夜勤
の
星子さん
SEIKO

大雄会は 完全分離型2交替制勤務 です。

医療法人大雄会は、日勤と夜勤を完全に分離した
完全分離型2交替制勤務を開発しました。

旧・厚生省のモデル事業にも参加して広く知られるようになったこの方式は、
従来から取りざたされている看護師の過酷な勤務体系の改善に一石を投じる、
画期的なシステムなのです。

一貫性のある指導は 患者さまの“安心感”のみなもと

新人看護師は先輩看護師の指導を受けながら一人前に成長していきますが、3交替勤務では勤務時間がころころと変わるため、いつも同じ先輩に指導してもらえることはまれです。しかし2交替勤務では先輩看護師はもちろん、医師や他の医療スタッフなど、いつも同じメンバーと働きますから一貫性のある指導を受けながら成長することができます。こうして成長した看護師に見守られていることは、すなわち患者さまの安心感にもつながります。

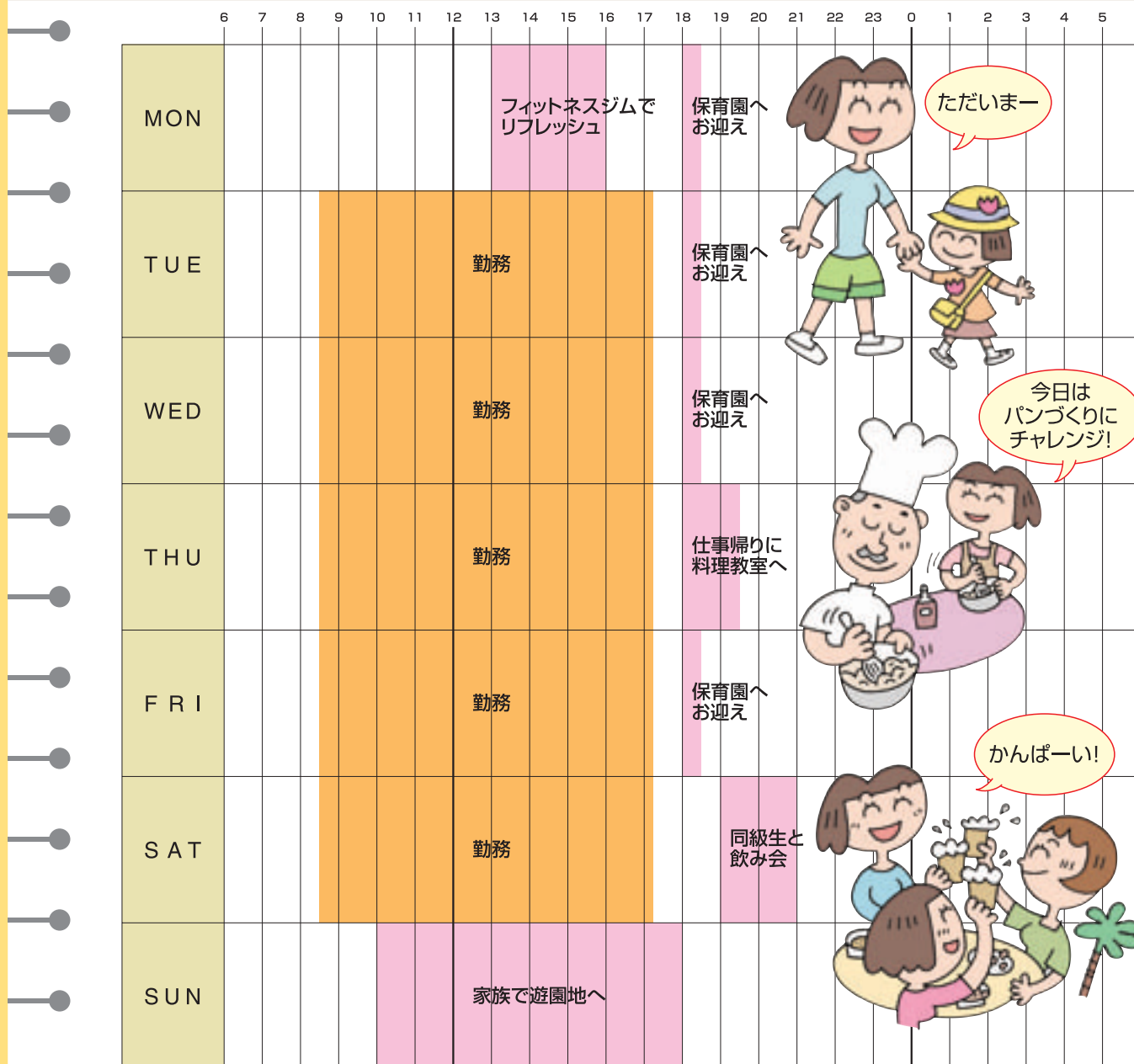
※大雄会病院の日勤勤務者は40時間／週の勤務体系です。

YOKO 陽子さんの SCHEDULE

…勤務時間

陽子さんの場合

結婚して、保育園に通う子どもがいる陽子さん。夜勤がないから保育園のお迎えにも充分間に合います。そして週に1回はご主人にお迎えを任せて、料理教室に通うことも可能です。



夜勤

少数精鋭に求められる “自立した看護師”の姿

日勤時間帯に比べて、夜間はスタッフの数が減るのは仕方ないこと。しかし、夜間に患者さまの病態が急変することも珍しくありません。このような条件下で看護師に求められるのは、総合的な看護知識と的確な判断力です。こうした“自立した看護師”であることを要求される夜勤は、一歩踏み込んだ看護の習得を志す方にはもってこいの職場です。そして、信頼できる看護師と共に夜を迎えることが、患者さまの信頼感につながっていることはいうまでもありません。

※大雄会病院の夜勤勤務者は32時間／週（16時間×2回）の勤務体系です。

SEIKO

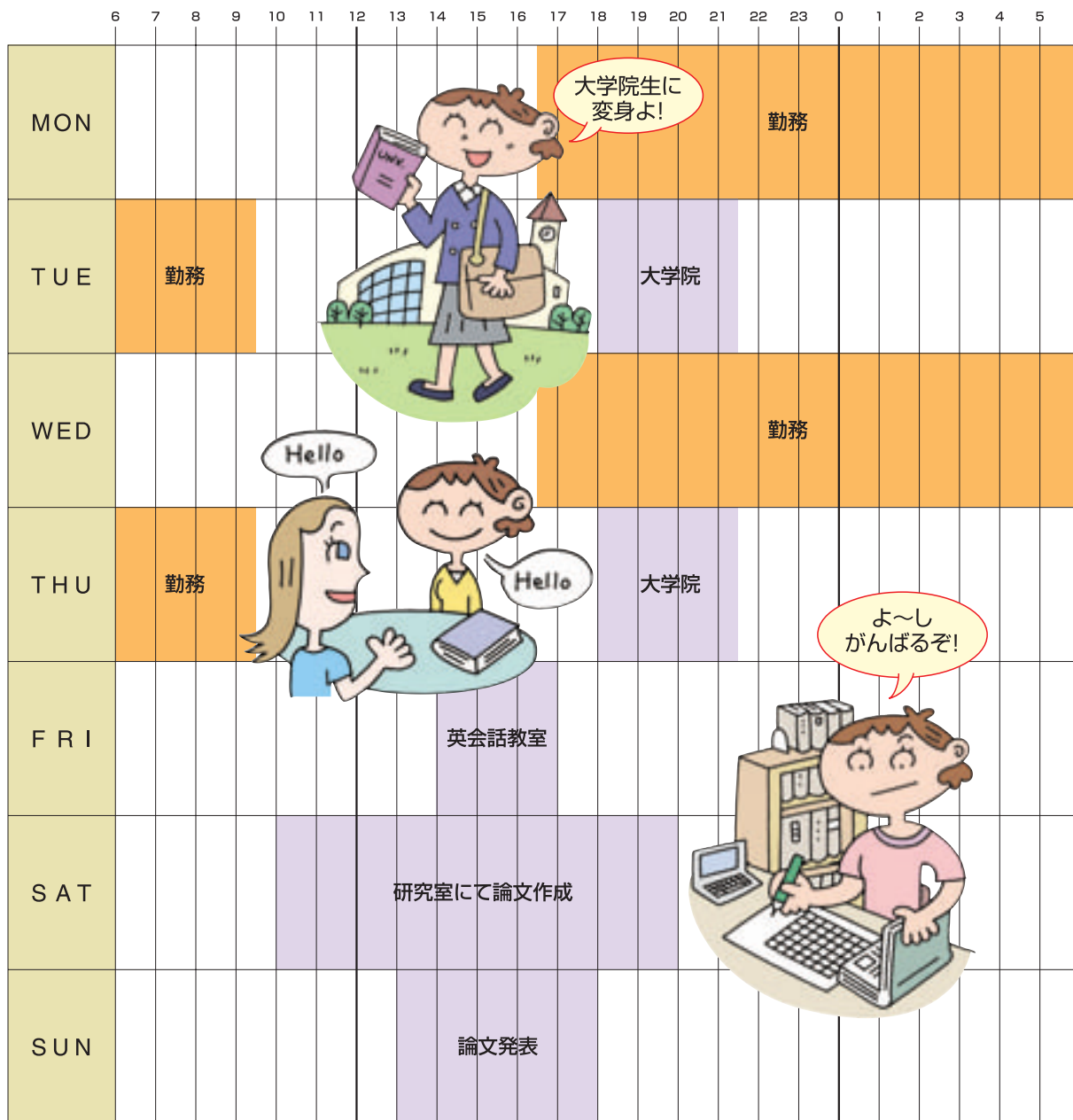
星子さんの

SCHEDULE

…勤務時間

星子さんの場合

働きながらキャリアアップをしたい星子さん。昼間の時間帯が自由に使えるので、念願の大学院進学も可能となりました。英会話も学び国際的に活躍ができる看護師を目指しています。

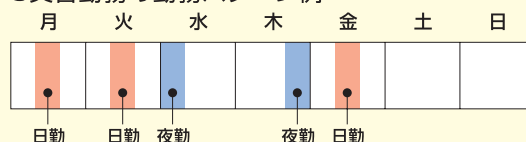


3交替勤務

とは

日勤・夜勤・深夜勤（もしくは早番・遅番・宿直）の3つの時間帯の勤務を、ローテーションで交替しながら勤務します。勤務時間帯がころころと変化するので生活のリズムが崩れやすく、また夜勤明け翌日に日勤につくなど、過酷な勤務条件が問題視されています。

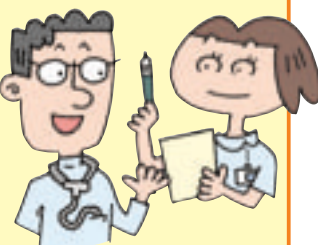
3交替勤務の勤務パターン例



日勤の メリット

新人を育成する 万全の指導体制

医師や師長、先輩といつもいっしょの勤務時間帯ですから、一貫性のある指導を受けることができます。新人看護師や、もう一度基礎から看護を学びたい人にも万全の指導体制で臨みます。



家族との すれ違いも軽減

夜勤がありませんから、家族や子どもと生活のリズムが一緒です。これまで結婚や出産を機に仕事をあきらめていた方も、安心して働けます。



申し送りも安心、 スムーズ

「私の受け持ち患者さまが今晚急変されないだろうか…」友人と映画や食事に出かけても患者さまのことが気になってしまうもの。2交替制勤務では夜勤のプロである「夜勤専従スタッフ」に引き継ぐからいつも安心。申し送りの時間も短縮されます。



毎朝、同じ顔が「おはよう」

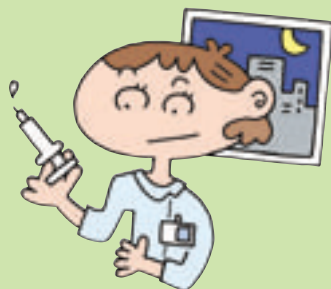
看護師の勤務時間帯がはっきりしているのは、患者さまにとって大きな安心感となります。「昨日の看護師さんに、ちゃんと言ったのに…」という不満もなくなります。



VOICE FROM SENIOR NURSE

自立した看護師へ

夜勤勤務者には総合的な看護知識と的確な判断力が要求されます。もう一歩上のスキルをめざす方には、願ってもない実践経験を積むことができます。



患者さまと 心のつながりを

時間に比較的ゆとりができる夜勤時間帯では、患者さまとゆっくりお話をする時間もあります。忙しさのなかで忘れがちな心の看護も充実できます。



毎晩、同じ顔が 「おやすみなさい」

病態が急変することもある夜間は、患者さまにとっても不安の高まる時間帯。夜勤専門の看護師に見守られていれば、患者さまも安心して眠りにつくことができます。



夜勤の メリット

少ない拘束日数

勤務は週に2回だけ。昼間の時間帯に拘束されることがありませんから、いろんな可能性が生まれます。仕事を続けながら大学院進学もしくは子育てとの両立もむずかしくありません。また遠距離通勤の負担も少ないので、家庭の事情などで引っ越しを余儀なくされても、いままでと同じ職場に通勤することが可能です。

